水道管の凍結にご注意ください

水道管が破裂するのはどんな状況？

水道管が凍結するのは、一般的に屋外気温がマイナス4℃になったときといわれています。日陰や風当りの強いところでもマイナス1～2℃以下の日が数日続くと凍ったり、破裂したりすることがあります。

特に気を付けなければならない水道管は、北向きで日陰になっているところや、風当たりが強いところや屋外でむき出しになっているところです。このような場所にある水道管は、事前に凍結を防ぐ処置を行いましょう。水道管の破裂や漏水を見つけた場合は、市業務課にご連絡ください。

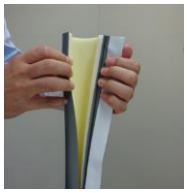
こんな水道管に注意！

- 北向きで日陰のところ
- 風当りが強いところ
- 屋外でむき出しになっているところ

ステップ1 凍結を防ぐ！

保温材の場合

保温材はホームセンター等で購入できます。



布の場合

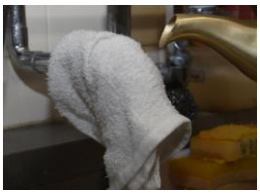
布が濡れないよう、ビニールテープを全体に巻きます。

注意！

水道管がむき出しの蛇口は継ぎ目が特に割れやすくなります。

ステップ2 凍結したときは

- タオルや毛布を巻き付けて、50℃ほどのぬるま湯をかける
- 自然に溶けるのを待つ



注意！

- 水が出なくても、蛇口を開けたままにしないようにしましょう。
- 熱湯をかけると水道管が破裂することがあります。

ステップ3 漏水確認を行う！

漏水確認の手順

1. 水の使用をすべて止める
2. 水道メーターを確認し、パイロットが回っていれば漏水の可能性有り

漏水を確認したら止水栓を閉めましょう

注意！

空き家・空き部屋や長期不在中、誰も気づかず漏水すると、高額の水道料金が発生してしまいます。

水道使用量が、配水池の水の供給能力を超えると断水してしまう恐れがあります。

年末年始は水道使用量が増える時期ですので、各家庭で節水にご協力ください。

問 市業務課 TEL0994-43-2800

回覧	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/